

第6回理事会開催

11月9日、東京都千代田区のKDDI 大手町ビルにおいて、第6回理事会を開催しました。

本理事会では、平成13年度の活動状況の報告が行われた他、平成14年度の事業計画の骨子、役員の改選などが審議され、今後も、相互評価(ピアレビュー)、安全キャラバンなどの活動を通じて、安全文化の定着・普及を図っていく事が確認されました。また、NSネットの活動内容を社会に対して積極的にアピールする方法や社会的に客観性の高いピアレビューのあり方など、種々の論議を行いました。



▲ 理事会の様子

平成14年度の活動計画の骨子

安全文化普及活動

従来の年次セミナー、管理者セミナー、安全キャラバンに加え原子力産業会議の地方原子力懇談会や(財)日本原子力文化振興財団等の関係団体などと連携を図るとともに、会員PA施設にNSネットの活動を説明したパネルを設置するなど、一般の方々向けの幅広い活動紹介を行う。

相互評価

プラント、キャスク、他の設計・製造事業所を中心に相互評価を実施するとともに、相互評価活動の客観性を高めるための工夫等についての検討を行う。

情報交換・発信

一般向けホームページでは、主要なトラブル情報を海外に発信していくとともに、メールマガジンを利用したアクティブな情報発信や有識者によるコラムなどの実施を検討する。また、会員向けホームページでは、従来のデータベースを拡充するとともに、より効果的な活用に向けたデータベースの充実を図る。

その他活動として、これまでの活動を取りまとめ、安全文化などについて分かりやすく編集し、NSネットのメッセージとして発信するとともに、新聞・雑誌等へのPR活動を行い、NSネットの活動を積極的にアピールしていく。

▲ 退任役員

理 事	鈴木 英夫	三菱マテリアル(株) 取締役副社長
	日浦 治也	三菱重工業(株) 特別顧問
	前田 肇	関西電力(株) 特別顧問

▼ 新任役員

理 事	佐藤 和夫	関西電力(株) 取締役副社長
	三宅 芳男	三菱重工業(株) 常務取締役
	武藤 章	三菱原子燃料(株) 取締役副社長

ホームページの充実

NSネットでは、一般の方々や会員に対してホームページを用いた原子力安全に関する情報交換・発信を行っていますが、今年度は「より親しみやすく、分かり易い」を合言葉にホームページの改良に取り組んでいます。ここでは、新たに追加した情報や機能について紹介します。

一般向け

一般向けホームページの日本語版では、原子力用語辞書、原子力施設周辺の環境放射線モニタリングデータやプルサーマル情報等へのリンク機能の充実を図りました。

また、英語版では、この11月より新たにトピックスコーナーを追加し、日本語版と同様に、NSネットの最近の活動状況の他、海外へのトラブル情報発信として、INES(国際原子力事象尺度)でレベル1以上の事象を対象に、会員のプレスリリースを翻訳した情報を提供しています。

URL <http://www.nsnet.gr.jp>



▲ 一般向けホームページ(英語版) プレス情報

会員向け

会員向けホームページでは、9月から安全キャラバンに関するデータベースを新たに追加し、これまで安全講演会でご講演いただいた講師の講演録や意見交換会の要旨などの情報を提供しています。

また、相互評価データベースに、これまでの相互評価で見出された良好事例を、写真や図を取り入れ項目毎により分かり易くまとめた「良好事例詳細シート」を登録しました。

会員向けホームページへのアクセスには会員のIDとパスワードが必要です。各運営委員の方にお尋ね下さい。



▲ 会員向けホームページ 安全キャラバンデータベース

相互評価(ピアレビュー)の実施状況

今回は、第16回日本原子力研究所 東海研究所、第17回中国電力(株)島根原子力発電所で行われたピアレビューの状況を紹介します。

なお、ピアレビューの概要及び報告書の全文についてはNSネットのホームページに掲載していますのでご覧ください。

第16回 日本原子力研究所 東海研究所

平成13年9月18日から21日にかけて行われた第16回のピアレビューには、四国電力(株)、三菱電機(株)、東京電力(株)、(株)東芝、(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン及びNSネット事務局の専門家(計6名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護及び重要課題対応の6つの分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。

評価の結果、東海研究所は、わが国の原子力研究の最大かつ中核を担う研究機関であるという自覚とその重責を認識し、蓄積された多くの知見を活かし、わが国の原子力事業者の模範となることへの意識が強く感じられました。



▲ ピアレビュー報告書の提出
牧野理事長(写真右)より
日本原子力研究所 村上理事長(写真左)へ

主な良好事例

- 原子力事業所安全協力協定(東海ノア協定)による各原子力事業所の安全確保
- 総合防災情報システム等の整備による防護活動の充実・強化
- 国際標準に沿った個人被ばく線量評価手法の確立と運用
- 研究炉運転経験の国内外における情報交換・提供

主な改善提案

- 「防災業務計画」等に係る情報の協力会社への一層の発信
- 各施設「運転手引」間の異常時等の通報・連絡インターフェースの明確化
- 崩壊熱除去運転経験等の「運転手引」等への更なる反映

第17回 中国電力(株)島根原子力発電所

第17回のピアレビューは、平成13年10月16日から19日にかけて行われ、住友金属鉱山(株)、中部電力(株)、九州電力(株)、日揮(株)、原子燃料工業(株)及びNSネット事務局の専門家(計6名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策、教育・訓練、運転・保守、放射線防護及び重要課題対応の6つの分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。

評価の結果、島根原子力発電所は、発電所と協力会社との垣根を無くし、情報交換を活発に行って、小さな安全上の問題点なども真っ先に報告できる風土を構築していることが確認されました。



▲ ピアレビュー報告書の提出
牧野理事長(写真左)より
中国電力(株)白倉社長(写真右)へ

主な良好事例

- 「安全協議会」の改善提案制度による協力会社の積極的な安全確保への関与
- 設備の異常兆候の発見に寄与する体感装置の有効活用
- シュラウド取替工事における周到な準備と発電所内一体となった工事の実践
- 全員参加の「ゼロ災活動」によるヒューマンエラー対策の掘り起こし

主な改善提案

- 「緊急時対策組織」の各班の手順書整備
- 運転員に対する認定行為の導入
- 初心者にも理解しやすい臨界安全管理に関するテキストへの見直し

安全キャラバンの実施状況

今回は、第25回から第28回の安全キャラバンの様子について紹介します。キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

安全キャラバンで講演いただいた内容は、NSネットにて講演録として製本し会員に配布しております。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
25	10月 5日	東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所	三菱重工業(株) 原子力品質保証室長 宮越 直樹	三菱重工業における安全 / 品質保証活動 - 間違いのない仕事をするために -
26	10月 25日	三菱原子燃料(株)	日本原子力研究所 東海研究所 保安管理室長 山原 武氏	原研・東海研究所における 防護活動について
27	10月 26日	ニュークリア・ デベロップメント(株)	関西電力(株) 原子力事業本部 原燃品質・安全グループマネジャー 大塚 茂樹氏	関西電力における 安全管理活動について
28	11月 7日	(株)グローバル・ ニュークリア・ フュエル・ジャパン		



▲ 宮越直樹氏
(於 東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所)
「安全管理の第一歩は、“個々の受け持ち分野で間違いのない仕事”を日々行うことにある。当たり前のことを当たり前前に継続していく地道な努力が最も重要である。」



▲ 山原 武氏
(於 三菱原子燃料(株))
「原子力の安全確保のためには、事業者自らの安全意識、安全活動、事故への備えが大切。また、日頃から他の原子力事業者との連携、情報交換、第三者による安全評価や万が一事故が起きた場合の原子力事業者間の積極的な支援、協力が大切。」



▲ 意見交換会
(於 ニュークリア・デベロップメント(株))



▲ 大塚茂樹氏
(於 (株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)
「『不具合に学ぶ』すなわち不具合から教訓を得て、再び過ちを繰り返さず、改善につなげるという心構えが必要」



NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立されたネットワーク組織です。

NSnet News No.10 2001年11月発行

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
ホームページでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnet.gr.jp>